

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：保健給食課] P.391

0602 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,251,448 円

[国・県 931,000 円 一財 320,448 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 931,000 円]

○ 目的

感染症予防対策として、保護者との連絡手段を確保する。

○ 内容

携帯電話通信料等 1,251,448 円

○ 効果

必要に応じて、児童生徒の保護者と連絡を取り合うことで、児童生徒の状況把握に資することができた。

[担当：学務課] P.393

2201 通学送迎に要する経費 18,412,666 円 (17,412,841 円)

[その他 6,830,000 円 一財 11,582,666 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 6,830,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童生徒が安全に通学できる手段を確保する。

○ 内容

通学送迎委託料 16,054,720 円

・取手小学校・取手第一中学校（小堀地区）	4,774,000 円
・取手東小学校（小文間地区）	7,920,000 円
・永山小学校（市之代・貝塚地区）	2,600,400 円
・桜が丘小学校（大留地区）	760,320 円

○ 効果

対象児童生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務課] P.393

2301 教育情報機器整備に要する経費 236,982,537 円 (166,915,481 円)

[国・県 59,776,000 円 一財 177,206,537 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校情報機器整備費補助金 3,580,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 56,196,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

また、GIGA スクール構想を推進するため、学校の無線アクセスポイントの更新を行った。

・ ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料	27,943,080 円
・ 教育センターシステムクラウド運用管理委託料	8,910,000 円
・ 無線アクセスポイント設定業務委託料	78,100,000 円
・ 教育センターシステムクラウド使用料	39,672,370 円
・ 教育・校務用パソコン使用料	7,296,080 円
・ 校務支援システム使用料	8,751,600 円
・ 教職員用パソコン使用料	42,742,080 円
・ 無線アクセスポイントの購入	4,107,180 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報の保護が図られた。また、無線アクセスポイント更新を行い、教員用端末からの通信速度を向上させることで、ICT 機器を利用した教育をより一層推進した。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 395

2101 奨学生貸付金 2,400,000 円 (2,280,000 円)

[その他 2,400,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 2,400,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学：月額 30,000 円、私立大学：月額 40,000 円

貸付者数

種 別	令和 4 年度 (内 新規貸付)	令和 3 年度 (内 新規貸付)	令和 2 年度 (内 新規貸付)
国公立大学	0 名	1 名	3 名
私立大学	5 名 (1)	4 名 (2)	4 名 (1)
合 計	5 名 (1)	5 名 (2)	7 名 (1)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 395

0501 教育振興に要する経費 71,394,706 円 (64,736,300 円)

[国・県 1,805,804 円 その他 1,406,834 円 一財 68,182,068 円]

* 特財内訳

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,805,804 円]

[寄附金：教育費寄附金 100,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,300,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 6,834 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・英語指導助手業務委託料 64,864,800 円
英語指導助手（ALT）14人（中学校6人・小学校8人配置）を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。
- ・地域人材活用事業講師謝礼 284,000 円
- ・理科教育用教材購入 1,805,804 円
- ・デジタルカメラ購入 99,990 円

○ 効果

小学校では全ての外国語の授業でALTを配置し、中学校では1校に1名のALTを配置することにより、外国語に慣れ親しみ外国語学習への意欲を高めることができた。また、新学習指導要領外国語の言語活動の要となる「外国語による本物のコミュニケーション」を図ることができた。

[担当：指導課] P.397

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,513,997 円 (5,265,419 円)

[国・県 1,745,000 円 一財 768,997 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,745,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響等による家計の負担を軽減するため、取手市立小中学校における茨城県外での宿泊を伴う修学旅行及び校外学習に係る経費の一部を支援する。

○ 内容

修学旅行等参加補助金

中学校	修学旅行	6校	779,157円
	宿泊学習	2校	230,645円
	スキー学習	5校	1,036,616円
小学校	修学旅行	13校	467,579円

○ 効果

保護者の経済的負担を軽減することができた。

[担当：指導課] P. 397

1001 特別支援教育に要する経費 7,128,663円(6,520,510円)

[国・県 465,000円 その他 17,747円 一財 6,645,916円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 337,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 128,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 17,747円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	R4年度	R3年度
未就学児	102件	101件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての審議を実施した。

・判定人数

区 分	R4年度(128人)	R3年度(103人)
新学齢児	48人	47人
在学児童生徒	80人	56人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

・研修会への参加者

区 分	R4年度	R3年度
研修会参加人数	35人	33人

・特別支援教育相談員報酬(3人分) 4,458,586円

・発達検査謝礼 720,000円

・訪問相談謝礼 840,000円

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 401

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 8,205,515円(2,568,505円)

[国・県 5,403,000円 一財 2,802,515円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,403,000円]

○ 目的

教育総合支援センターにおける施設衛生対策や適応指導教室内での飛まつ対策等の新型コロナウイルス感染症対策に資する備品を配備し、安全・安心な事業の継続性を確保する。

○ 内容

- ・トイレ改修工事 990,000 円
- ・空調設備改修工事 5,973,000 円
- ・談話室改修工事 924,000 円

○ 効果

教育総合支援センターにおける衛生対策及び飛まつ対策を行い、通室生及び相談者、職員の安全を確保し、事業を継続することができた。

[担当：指導課] P. 401

2401 教育相談に要する経費 30,055,415 円

[その他 36,669 円 一財 30,018,746 円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 36,669 円]

○ 目的

取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言を踏まえ、令和2年4月より (1) 全員担任制 (小学校はチーム指導)、(2) 教育相談部会システムの導入、(3) 2学期制の導入からなる取手市の新しい学校教育3つの取組を開始した。

スクールカウンセラー・スーパーバイザーと学校連携支援員が、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで支援できるようサポートしていく。また、学校教育相談員やスクールソーシャルワーカーの専門職により、より適切な支援を行う。

○ 内容

- ・学校連携支援員報酬 4,947,215 円
- ・学校教育相談員報酬 3,839,550 円
- ・スクールソーシャルワーカー報酬 1,800,000 円
- ・いじめ問題専門委員会委員報酬 231,000 円
- ・子どもと親の相談員謝礼 3,810,000 円
- ・教育資質・能力向上研修講師謝礼 271,000 円
- ・燃料費 322,818 円
- ・自動車損害保険料 212,941 円
- ・スクールロイヤー委託料 891,000 円
- ・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料 8,295,610 円
- ・Q-Uテスト実施業務委託料 2,844,226 円
- ・いじめ防止アプリ使用料 714,120 円

○ 効果

教育相談部会システムを推進するに当たり、学校連携支援員を中心として、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで対応できるようサ

ポートすることができた。また、専門職であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーがよりきめ細やかな支援を行った。

8月には現在の子どもたちに焦点をあて、子どもたちを育んでいく学校づくりを目指していくため、講師を招き教職員一斉研修会を開催し、多くの学びを得ることができた。

【担当：指導課】 P. 403

2402 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,850,695円

〔国・県 1,390,000円 その他 6,041円 一財 454,654円〕

* 特財内訳

〔国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,390,000円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 6,041円〕

○ 目的

学校教育相談員を新規に1名任用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による児童生徒及び保護者の心のサポートを強化する。

○ 内容

・学校教育相談員報酬	1,539,450円
・燃料費	24,283円
・自動車損害保険料	15,379円

○ 効果

新規に任用した学校教育相談員を中学校に配置し、定期的に相談業務を行い、生徒や保護者の悩みや困りごとに寄り添い、学校とともに支援を行った。

【担当：指導課】 P. 403

2501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 4,931,960円（4,931,960円）

〔その他 3,450,000円 一財 1,481,960円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,450,000円〕

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童の受け入れを行っている。

アーティストと児童の交流事業として、外国籍のアーティストを招き、短期間学校に滞在し、児童とともに創作活動を行う「となりのスタジオ」を実施した。

年間を通して取り組む「大地からはじまること」では、身の回りにある自然から素材を得て、手を加える方法を学び、時間をかけてものを形づくることを体感するプログラムを実施した。

・アーティストと児童の交流事業委託料	4,931,960円
--------------------	------------

○ 効果

「となりのスタジオ」で制作した作品を市民ギャラリーに展示し、市民に広く周知す

ることができた。また、アーティストとの交流する機会を提供することで「創造する力、表現する力」を育む教育の展開に寄与した。

【担当：指導課】 P. 403

4201 日本語指導員に要する経費 1,141,140円 (1,736,568円)

[一財 1,141,140円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

・日本語指導員報酬 1,111,203円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R4	6人	中国語4人 ポルトガル語4人
R3	7人	中国語1人 ポルトガル語5人 英語3人 韓国語1人 スペイン語2人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

【担当：指導課】 P. 403

4501 学力向上推進事業に要する経費 327,473円 (418,428円)

[国委 163,452円 一財 164,021円]

* 特財内訳

[国委：読書活動推進事業委託金 163,452円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。

また、教職員の指導力向上を目指した研修を充実させる。

読書のすばらしさを広めていくため、たった一冊でも心から誰かに薦めたいくなるような魅力的な本との出会いをした児童生徒にスポットをあて、賞賛し、市全体にも本の魅力を広めていく。

○ 内容

・みんなにすすめたい1冊の本推進事業 163,452円

○ 効果

児童生徒の学力の向上を目指し、教職員の指導力を高める研修を計画的に実施することができた。また、自校や他校の児童生徒が薦める本が、子どもたちにとって大変魅力的なものとなり、選書の幅を広げることができた。

[担当：指導課] P. 405

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 240,325円(306,165円)

[国・県 160,000円 一財 80,325円]

* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 160,000円]

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、取手図書館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設けた。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用した。

延べ参加人数

会場	取手図書館	永山小コミュニティスペース	藤代庁舎
児童数	69人	94人	132人
学習支援員数	15人	15人	22人
高校生ボランティア数	38人	25人	54人

・土曜日学習支援員謝礼 208,000円

・消耗品等 6,655円

・ボランティア保険料 25,670円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P. 409

2001 小学校管理に要する経費 275,167,217円(234,152,500円)

[その他 7,084,005円 一財 268,083,212円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,514,700円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,295,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 111,694円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 162,611円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

・小学校6校(取手東小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小)にTT(ティームティーチング)講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎学力の定着を図った。 4,928,830円

- ・教育補助員を全小学校に配置し、児童の学校生活の支援を行った。 77,656,878 円
- ・学校司書を全小学校に配置し、学校図書室の整備を図った。 13,378,168 円
- ・老朽化した寺原小学校のブランコを更新した。 1,903,000 円

○ 効果

- ・IT 講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。
- ・教育補助員を配置することで、児童の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。
- ・寺原小学校の遊具を更新することで、児童に対して安全な遊具を提供することができた。

[担当：学務課] P.411

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 6,065,725 円 (5,195,014 円)

[国・県 4,937,000 円 その他 4,401 円 一財 1,124,324 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,937,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,401 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、児童の学習環境の維持を図る。

○ 内容

- ・校内の消毒清掃を行うための業務委託及び用務員の配置を実施した。
- ・教職員が電話連絡により、児童の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の学習環境の維持が図られた。

[担当：保健給食課] P.413

2201 小学校保健衛生に要する経費 26,917,562 円 (27,331,570 円)

[国・県 30,600 円 その他 1,781,580 円 一財 25,105,382 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 30,600 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460 円×3,873 人=1,781,580 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 13,501,333 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	25 名（14 名）	23 名	14 名

- ・児童・教職員集団検診委託料 4,506,150 円

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
R4	4,349人	521人	671人	7人	521人
R3	4,485人	518人	719人	5人	518人

職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R4	82人	82人	6人	78人	82人	82人
R3	83人	83人	10人	83人	83人	83人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施 30,228円
- ・学校環境衛生検査の実施(簡易専用水道検査) 146,740円

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.415

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 18,291,726円(16,638,185円)

[国・県 9,202,000円 一財 9,089,726円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 8,302,000円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 900,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、児童の学習保障をするための学校教育活動に必要な経費を支援する。

併せて、手指消毒液やパーティション、抗原検査キット等の購入により、感染症予防対策を図る。

○ 内容

- ・学校活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童・教職員等が必要となる消毒液等の物品購入を行った。
- ・児童の学びの保障として、感染状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の補助を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の学習保障の確保並びに安全な学習環境の維持が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.417

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 23,995,273円(34,785,393円)

[国・県 714,420円 その他 11,213,000円 一財 12,067,853円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 714,420円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 11,213,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	合 計
R4	10,015,129	2,503,289	10,333,910	22,852,328
R3	12,619,767	2,612,529	17,646,033	32,878,329

※令和3年度は教育費寄附金を活用し、図書の整備を行った。

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.417

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 19,530,077円 (46,302,875円)

[国・県 12,262,000円 一財 7,268,077円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 12,262,000円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGAスクール構想に伴う児童用タブレット端末の環境整備を行う。

○ 内容

・無線アクセスポイントの購入 17,113,250円

○ 効果

児童用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICT活用による教育の充実が図られた。また、無線アクセスポイント更新を行い、タブレット端末からの通信速度を向上させることで、ICT機器を利用した教育がより一層推進された。

[担当：学務課] P.417

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 43,930,544円 (41,222,688円)

[国・県 3,692,000円 一財 40,238,544円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 54,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,638,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護・準要保護児童就学援助者数 (在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R4	24 人	486 人	510 人
R3	33 人	510 人	543 人

・ 入学準備金支給者数

区 分	申請者数	支給者数
R4	56 人	53 人
R3	72 人	67 人

・ 特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R4	301 人	204 人
R3	293 人	199 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P. 419

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,071,659 円 (5,320,147 円)

[国・県 3,083,000 円 一財 1,988,659 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,083,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 4 年 1 月から 3 月にかけて市内小学校で実施した臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されることから、それに対応した支援を行う。

感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

また、夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や児童の学習機会の確保を図る。

○ 内容

臨時休業期間(令和 4 年 1 月から 3 月)中、家庭における昼食費負担を軽減するため、臨時休業 1 日当たり 300 円の昼食費補助を実施した。

また、令和 4 年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費を援助した。

・ 収入認定特例措置

区分	認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
R4	10 人	0 人	10 人
R3	16 人	0 人	16 人

・ 昼食費補助金

区分	支給額
R4	2,571,600 円
R3	2,688,300 円

・図書給付

区分	配布人数	配布冊数	図書購入金額
R4	477 人	954 冊	1,397,704 円
R3	504 人	1,008 冊	1,476,420 円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置及び図書給付による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.419

2901 小学校特別活動助成に要する経費 47,300 円 (218,900 円)

[一財 47,300 円]

○ 目的

児童生徒科学研究作品展等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

賞状印刷代 47,300 円

○ 効果

児童生徒科学研究作品展や小学校読書感想文において優秀作品を表彰することにより、関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.419

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 15,864,200 円 (4,775,400 円)

[国・県 11,700,000 円 一財 4,164,200 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 11,700,000 円]

○ 目的

学校衛生環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、小学校 10 校の保健室に手足洗い場を設置するとともに、取手東小学校及び桜が丘小学校の校舎に流し台を増設する。

○ 内容

学校名	内容	金額(単位:円)
取手小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,254,000
取手東小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,188,000
	校舎流し台増設工事 (6 箇所・蛇口 25 個)	3,575,000
寺原小学校	保健室手足洗い場設置工事	493,900
戸頭小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,298,000
取手西小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,296,900
高井小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,287,000
山王小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,267,200
六郷小学校	保健室手足洗い場設置工事	1,254,000
久賀小学校	保健室手足洗い場設置工事	909,700
桜が丘小学校	保健室手足洗い場設置工事	841,500

	校舎流し台増設工事（1箇所・蛇口3個）	1,199,000
--	---------------------	-----------

○ 効果

小学校保健室への手足洗い場設置工事及び校舎流し台増設工事を行うことにより、新たな手洗い場所の確保ができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

[担当：教育総務課] P.419

2203 小学校建設事業に要する経費（白山小学校） 594,193,400円（23,383,000円）
 〈561,935,000円〉※〈 〉は、うち3年度繰越分

[国・県 〈45,423,000円〉 地方債 545,700,000円 〈516,400,000円〉
 その他 2,075,000円 〈112,000円〉 一財 995,400円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈45,423,000円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債

〈(135,373,000円－45,423,000円)×100%≒89,900,000円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈426,562,000円×100%≒426,500,000円〉]

[市債：合併特例債 30,913,000円×95%≒29,300,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,963,000円]

[繰越金：前年度繰越金 〈112,000円〉]

○ 目的

老朽化の著しい白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事にかかる第2期から第4期工事の実施設計及び第1期工事を行い、安全かつ快適な教育環境の充実に図る。

○ 内容

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事实施設計業務委託料 30,913,000円

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事監理業務委託料 4,675,000円

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事 557,260,000円

○ 効果

老朽化の著しい白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事の第1期工事として体育館の長寿命化改良工事及び一部校舎の解体工事等を行うことにより、安全かつ快適な教育環境の整備が図られた。また、第2期から第4期工事の実施設計を行うことにより、令和5年度の第2期工事が速やかに着工できる準備が整った。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.421

2001 給食運営に要する経費 314,556,985円（284,083,091円）

[その他 169,194,464円 一財 145,362,521円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,080,000円]

[諸収入：小学校給食代自校分 168,075,676円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 38,788円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供する

ことにより、教育の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (12 校)	1,120,460
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (8 校)	1,457,357
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (8 校)	1,201,090
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除 (14 校)	697,312
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (7 校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小、高井小)	118,136,700
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8 校)	798,512

・賄材料費 166,662,219 円

○ 効果

適正な施設運営や学校等給食費の計画的徴収を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.423

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 9,281,780 円 (176,628 円)

[国・県 5,605,000 円 一財 3,676,780 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,960,000 円]

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 645,000 円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

さらに、学校の臨時休業により影響を受けた、学校給食用食材（主食及び牛乳）納入事業者に対して経済支援を行う。

○ 内容

・賄材料費 7,853,477 円

・学校等臨時休業対策費給食事業補助金 1,428,303 円

○ 効果

学校の臨時休業及び食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.423

2101 給食施設整備に要する経費 5,768,106 円 (5,859,248 円)

[その他 2,700,000 円 一財 3,068,106 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,287,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,413,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

- ・修繕料（施設や厨房機器等の修繕） 4,354,889 円
- ・備品購入費（取手小学校業務用冷凍庫・業務用冷蔵庫等） 1,413,217 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

[担当：保健給食課] P.425

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,321,900 円 (3,536,500 円)

[国・県 3,510,000 円 一財 811,900 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,510,000 円]

○ 目的

配膳室内に自動水栓手洗い器の設置と給食室内で自動水栓化されていない手洗い器を自動水栓に交換、その他必要な改修工事を行うことで、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

工事請負費（小学校6校分自動水栓化工事） 4,321,900 円

○ 効果

配膳室内の感染症対策の徹底を図ることで、学校給食を円滑に提供することができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.427

2001 中学校管理に要する経費 85,343,305 円 (67,870,897 円)

[その他 1,947,574 円 一財 83,395,731 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 657,550 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 117,040 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,134,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 38,984 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・教育補助員を2校（取手第一中学校・藤代南中学校）に配置し、生徒の学校生活の支援を行った。1,538,409 円
- ・学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図った。5,647,528 円

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、生徒の学校生活を支援することができた。
- ・学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。

[担当：学務課] P. 429

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,742,681 円 (2,275,824 円)

[国・県 1,625,000 円 一財 1,117,681 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,625,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、生徒の学習環境の維持を図る。

○ 内容

- ・校内の消毒清掃を行うための業務委託を実施した。
- ・教職員が電話連絡により、生徒の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、生徒の学習環境の維持が図られた。

[担当：保健給食課] P. 431

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,858,104 円 (14,010,454 円)

[国・県 17,940 円 その他 862,500 円 一財 12,977,664 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 17,940 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×1,875 人=862,500 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や、学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 6,154,000 円

区分	学校医（うち学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	12 名（6 名）	10 名	6 名

- ・生徒・教職員集団検診委託料 3,626,865 円

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2 年	1 年	精密検査対象者	2 年
R4	2,189 人	485 人	765 人	2 人	485 人
R3	2,207 人	466 人	745 人	1 人	466 人

職員

区分	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・腹囲測定
R4	57人	57人	9人	54人	57人	57人
R3	54人	54人	11人	54人	54人	54人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施 17,259円
- ・学校環境衛生検査の実施(簡易専用水道検査) 64,680円

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.431

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 9,800,307円(8,097,895円)

[国・県 5,237,000円 一財 4,563,307円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 4,046,000円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,191,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、生徒の学習保障をするための学校教育活動に必要な経費を支援する。

併せて、手指消毒液やパーティション、抗原検査キット等の購入により、感染症予防対策を図る。

○ 内容

- ・学校活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、生徒・教職員等が必要となる消毒液等の物品購入を行った。
- ・生徒の学びの保障として、感染状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の補助を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施し、生徒の学習保障の確保並びに安全な学習環境の維持が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.433

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,116,843円(20,035,613円)

[国・県 608,580円 その他 7,785,000円 一財 6,723,263円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 608,580円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 7,785,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
R4	4,654,480	1,707,630	7,034,853	13,396,963
R3	5,692,519	1,828,752	10,169,175	17,690,446

※令和3年度は教育費寄附金を活用し、図書の整備を行った。

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.433

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 27,242,057円 (32,538,629円)

[国・県 8,689,000円 一財 18,553,057円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,689,000円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGAスクール構想に伴う生徒用タブレット端末の周辺環境整備を行う。

○ 内容

- ・パソコン使用料 14,319,504円
- ・無線アクセスポイントの購入 12,125,960円

○ 効果

生徒用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICT活用による教育の充実が図られた。また、無線アクセスポイント更新を行い、タブレット端末からの通信速度を向上させることで、ICT機器を利用した教育がより一層推進された。

[担当：学務課] P.435

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 39,156,489円 (36,017,166円)

[国・県 2,470,000円 一財 36,686,489円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 183,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,287,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護生徒就学援助者数（在校生）

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R4	22 人	275 人	297 人
R3	22 人	291 人	313 人

・入学準備金支給者数

区 分	申請者数	支給者数
R4	91 人	87 人
R3	97 人	97 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R4	117 人	83 人
R3	106 人	71 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P. 435

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,746,760 円 (3,203,251 円)

[国・県 1,053,000 円 一財 693,760 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,053,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年1月から3月にかけて市内中学校で実施した臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されることから、それに対応した支援を行う。

感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

また、夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や生徒の学習機会の確保を図る。

○ 内容

臨時休業期間(令和4年1月から3月)中、家庭における昼食費負担を軽減するため、臨時休業1日当たり300円の昼食費補助を実施した。

また、令和4年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費を援助した。

・収入認定特例措置

区分	認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
R4	4 人	0 人	4 人
R3	4 人	0 人	4 人

・昼食費補助金支給額

区分	支給額
R4	216,900 円
R3	1,621,500 円

・図書給付

区分	配布人数	配布冊数	図書購入金額
R4	286 人	572 冊	874,610 円
R3	297 人	594 冊	913,022 円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置及び図書給付による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 435

2401 中学校部活動指導員配置事業に要する経費 1,658,856 円

[国・県 1,095,080 円 一財 563,776 円]

* 特財内訳

[国補：中学校部活動指導員配置事業補助金 547,000 円]

[県補：中学校部活動指導員配置事業補助金 548,080 円]

○ 目的

専門的技術の高い外部指導者を任用し、持続可能な部活動の円滑な運営と生徒の競技力向上を目指す。

○ 内容

市内5中学校に9人の部活動指導員を配置し、生徒が専門的な技術の指導を受ける機会を確保した。

・中学校部活動指導員報酬 1,555,167 円

・費用弁償 103,689 円

○ 効果

外部指導者の専門的な技術指導や助言を受けることにより、生徒の競技に対する意欲や競技力が向上した。また、競技に対して経験が豊富なことから、安全面の指導を的確に行うことができている。

[担当：指導課] P. 435

2901 中学校特別活動助成に要する経費 16,411,260 円 (11,768,609 円)

[その他 10,620,000 円 一財 5,791,260 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,620,000 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金 794,400 円

・中学校体育連盟補助金（総体等運営経費） 494,000 円

・市内体育大会補助金（新人体育大会バス代半額補助）	3,874,032 円
・関東大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	691,690 円
・全国大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	377,376 円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	9,630,472 円
・賞状印刷代	28,050 円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心、意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.437

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 6,453,700 円 (917,400 円)

[国・県 4,225,000 円 一財 2,228,700 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,225,000 円]

○ 目的

学校衛生環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、永山中学校及び藤代中学校の校舎に流し台を増設する。

○ 内容

学校名	内容	金額 (単位：円)
永山中学校	校舎流し台増設工事 (3 箇所・蛇口 9 個)	5,555,000
藤代中学校	校舎流し台増設工事 (1 箇所・蛇口 4 個)	898,700

○ 効果

永山中学校及び藤代中学校の校舎に流し台増設工事を行うことにより、新たな手洗い場所の確保ができ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

[担当：教育総務課] P.437

2104 中学校建設事業に要する経費 (永山中学校) 56,342,200 円 (880,000 円)

〈54,516,000 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 3 年度繰越分

[国・県 〈11,297,000 円〉 地方債 〈41,000,000 円〉

その他 〈2,219,000 円〉 一財 1,826,200 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈11,297,000 円〉]

[市債：合併特例債 〈(54,516,000 円 - 11,297,000 円) × 95% ≒ 41,000,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈2,219,000 円〉]

○ 目的

浄化槽設備の老朽化が著しい永山中学校について、浄化槽を廃止し公共下水道に接続するため、公共下水道接続工事を行う。

○ 内容

・公共下水道負担金	1,826,200 円
・中学校公共下水道接続工事	54,516,000 円

○ 効果

永山中学校の公共下水道接続工事を行うことにより、学校衛生環境の向上及び維持管理費用の低減が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.437

2001 給食運営に要する経費 166,380,206 円 (158,016,091 円)

[その他 87,746,600 円 一財 78,633,606 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 820,000 円]

[諸収入：中学校給食代自校分 86,913,426 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 13,174 円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供することにより、教育の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(単位：円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (6校)	750,200
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (4校)	863,643
給食室病害虫防除委託料	給食室等の病害虫の防除 (6校)	309,188
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (4校)	734,910
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	65,384,000
空調機保守点検委託料	空調設備保守点検業務委託 (4校)	169,488

・賄材料費 87,027,219 円

○ 効果

適正な施設運営や学校等給食費の計画的徴収を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.439

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,793,625 円 (35,681 円)

[国・県 2,854,000 円 一財 1,939,625 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,655,000 円]

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 199,000 円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

さらに、学校の臨時休業により影響を受けた、学校給食用食材（主食及び牛乳）納入

事業者に対して経済支援を行う。

○ 内容

- ・ 賄材料費 4,109,260 円
- ・ 学校等臨時休業対策費給食事業補助金 684,365 円

○ 効果

学校の臨時休業及び食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.439

2101 給食施設整備に要する経費 3,732,055 円 (4,278,197 円)

[その他 1,139,000 円 一財 2,593,055 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,039,000 円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

- ・ 修繕料（施設や厨房機器等の修繕） 2,148,872 円
- ・ 備品購入費（業務用冷凍庫・牛乳保冷庫等） 1,583,183 円

○ 効果

給食室・配膳室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

[担当：保健給食課] P.439

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 913,000 円 (2,387,000 円)

[国・県 650,000 円 一財 263,000 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 650,000 円]

○ 目的

配膳室内に自動水栓手洗い器の設置と給食室内で自動水栓化されていない手洗い器を自動水栓に交換、その他必要な改修工事をする事で、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

工事請負費（藤代中学校分自動水栓化工事） 913,000 円

○ 効果

配膳室内の感染症対策の徹底を図ることで、学校給食を円滑に提供することができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：保健給食課] P.443

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 647,919 円 (664,537 円)

[その他 2,916 円 一財 645,003 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @162円×18人=2,916円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

・園医及び園歯科医、園薬剤師の報酬 570,000円

区分	園医	園歯科医	園薬剤師
人数	1名	1名	1名

・園児・教職員集団検診委託料 4,950円

区分	腎臓検診
R4	15人
R3	17人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.443

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 634,907円(499,935円)

[国・県 337,000円 一財 297,907円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 88,000円]

[県補：教育支援体制整備事業費補助金 249,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策に必要な環境整備を行うことにより、質の高い環境で、子どもを安心して育てることができる体制を整える。

○ 内容

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、密閉・密集・密接を回避するために必要となる物品等の購入を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のために必要となる消毒液や石けん等の保健衛生用品を購入し、安全・安心な幼児教育の環境整備を図った。

○ 効果

市立幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を行い、園児の教育環境の維持が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：生涯学習課] P.447

2201 生涯学習推進に要する経費 3,290,824円(1,670,226円)

[一財 3,290,824円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を、とりで学遊プラザリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	R4年度		R3年度	
	件数	受講者決定数	件数	受講者決定数
リーダーバンク編・講座数	6	143人	13	313人
行政編・講座数	51	1,327人	43	1,101人
合計	57	1,470人	56	1,414人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講決定者数
『目で見える取手の歩み』講座（その1） 「鎌倉殿の十三人」の時代と取手 講師 埋蔵文化センター職員	10月11日（火）	138人
『目で見える取手の歩み』講座（その1） 縄文時代の食卓事情 講師 埋蔵文化センター職員	10月24日（月）	138人
『目で見える取手の歩み』講座（その1） 明治維新期の取手 講師 埋蔵文化センター職員	10月31日（月）	138人

・東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（東大 EMP）に御協力いただき、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による「未来を拓く先端知」と題された国内第一線の研究者による講座や各界第一人者の講座を開講した。

講座名／講師名	開催期間	受講決定者数
激しさと静けさー絵画を通して考える ＜存在の意味＞について 講師 東京大学名誉教授 小林 康夫	8月31日（水）	254人
猫に教えられた新しい医療： AIMによる体のゴミ掃除で治らない病気を治す 講師 一般社団法人 AIM 医学研究所代表理事・所長 元東京大学大学院医学系研究科教授 宮崎 徹	10月18日（火）	281人
ウイルスは役に立つ ーワクチン開発と新たながん治療法の開発ー 講師 東京大学名誉教授 甲斐 知恵子	11月10日（木）	217人
ユニークさを活かす AI・ロボット時代の学び方・働き方 講師 東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー 中邑 賢龍	11月24日（木）	191人

【光格子時計】－新しい時間をつくる 講師 東京大学大学院工学系研究科・教授 香取 秀俊	1月17日(火)	168人
--	----------	------

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
「コミュニティ（市民）防災を進めよう」第3回 講師 NPO 法人環境防災総合研究機構環境・防災研究所副所長 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎 氏	5月26日(木)	78人
脱炭素社会におけるエネルギーと経済の未来： カーボンプライシングの役割 講師 有村 俊秀	12月23日(金)	177人
プログラミング体験講座 プラチナマイスター（プラチナ未来スクール）、大学生 スタッフ	2月14日(火)、 21日(火)、28 日(火)、3月 7日(火)、14 日(火)	32人
プログラミング講座 プラチナマイスター（プラチナ未来スクール）、大学生 スタッフ	4月1日(金) ～3月31日 (金)（年30 回）	12人

・特別講演会

講座名／講師名	開催期間	受講 決定者数
特別講演会 世界で闘うためのKOZUEメソッド 講師 安藤 梢	3月21日(火)	158人
サッカークリニック 安藤塾 みんなでサッカーを楽しもう！！ 講師 安藤 梢、榎本 光		30人

(3) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により全体研修会を実施した。(21学級 参加者数85人)

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を取得する機会を提供することができた。

家庭教育学級では、脳科学を活かした子どもへの対応をテーマにした全体研修会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。令和4年度もコロナ禍ではあったが、感染症対策を行った上で実施できる講座を行った。

[担当：文化芸術課] P. 449

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,602,677円 (2,567,249円)

[その他 1,796,000円 一財 2,806,677円]

* 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 1,796,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第47回 取手美術 作家展	6/11～6/22 (12日間)	41名の郷土作家による作品展。小中学校ギャラリーツアーも開催。 会場：とりでアートギャラリー 委託先：取手美術作家展 委託料：900,000円	1,913人
第53回 取手市民 美術展	10/28～12/5 (うち33日間)	市民の作品展。日本画・洋画・彫刻の部 72点、写真・書・工芸・デザイン の部 82点(招待作品を含む)、小中学生の部 1,159点。 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費・役務費：439,427円	5,834人
取手市文化祭	11/3、5、6 (3日間)	伎芸発表と作品展を開催。 会場：市民会館・福祉会館 委託先：取手市文化連盟 委託料：1,000,000円	4,776人
取手市藤代 文化祭	10/9～11/19 (うち9日間)	作品展、体験教室、舞台発表、文化講演 を開催。 会場：藤代公民館 委託先：取手市藤代文化協会 委託料：500,000円	2,361人
とりでスкуль・アートフェスティバル	1/21～1/29 (9日間)	市内にある全日制高等学校全7校の 芸術教育の作品や演奏の発表。 会場：取手ウェルネスプラザ、とり でアートギャラリー 委託先：とりで スкуль・アートフェ スティバル実行委員会 委託料：296,000円	970人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	488,000円	団体の運営補助、50周年記念事業補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000円	団体の運営補助
よいなかまの会	118,000円	団体の運営補助

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度中止した事業は、感染症拡大防止策を講じて従前同様に実施した。来場者数に影響があったものの、数年ぶりに文化芸術活動・鑑賞の機会を提供できた。

〔担当：文化芸術課〕 P. 451

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 90,430,497円(89,944,889円)

〔その他 1,484,975円 一財 88,945,522円〕

* 特財内訳

〔諸収入：電気需給契約の解約に伴う損害賠償金 1,484,975円〕

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 委託料

平成18年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：90,110,975円

年度	施設名	使用件数	入場者数 利用者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
R4	市民会館	226件	42,992人	68.5%
	福祉会館	8,078件	109,749人	100%
R3	市民会館	207件	27,960人	68.5%
	福祉会館	6,980件	90,370人	100%

(2) 工事請負費：227,700円

工事名	内容	工期	金額
市民会館ピアノ庫空調 設備設置工事	ピアノ庫機能向上の ための工事	10/4~10/31	227,700円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し、文化芸術の振興に寄与した。

〔担当：文化芸術課〕 P. 451

2902 新型コロナウイルス感染症対策経費 6,858,600円(2,481,280円)

〔国・県 3,945,000円 一財 2,913,600円〕

* 特財内訳

〔国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,945,000円〕

○ 目的

新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、利用制限があった期間の減収を補償するため、施設管理者へ支援金を交付する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、配信機材、セルフレジ、消毒液等の購入、市民会館の客席等への抗菌・抗ウイルス化コーティングの施工により、利用者

の安全を確保する。

○ 内容

(1) 利用制限支援金：1,000,000円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館しているが利用制限があった期間（令和3年度）における減収分の1/2（上限1,000,000円）を支援金として交付した。

(2) 抗菌・抗ウイルス化コーティング委託料：2,035,000円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取手市民会館の観客席等不特定多数の人が接触する可能性があるところに対し、県文化会館で実績がある抗菌・抗ウイルス化コーティングを施工した。

(3) 市民会館配信環境整備用備品：1,282,600円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民会館自主事業の配信を行い、館内に入らずに通信端末を用いて芸術鑑賞できるようにした。

(4) セルフレジ：2,475,000円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、セルフレジを導入することで金銭受渡しなどでの接触の機会を減らした。

○ 効果

施設管理者の運営管理が健全化し、安定した。また、感染症拡大防止に努め、利用者の安全安心な施設利用につながった。

〔担当：文化芸術課〕 P.451

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 6,803,321円（4,154,931円）

〔その他 5,640,000円 一財 1,163,321円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,640,000円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000円〕

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を生かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学 取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000円（500,000円×4人）

第71回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品2点（日本画・工芸）、及び音楽分野の優秀者2人（指揮・室内楽）に市長賞を授与した。美術部門の受賞作品は、とりでアートギャラリーに展示した。音楽部門の受賞者は、令和5年12月の記念演奏会で演奏を予定している。

種類	作品名	作者／受賞者
日本画	降る水	堀田 紅音
工芸（彫金）	Resonance	渡辺 慧菜
指揮		吉崎 理乃
室内楽		二上 りか子

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業。

小学校 14 校で美術指導を、中学校 6 校で吹奏学部への音楽指導を実施した。

委託料：小学校（美術）指導 2,402,400 円（派遣人数 159 人）

委託料：中学校（音楽）指導 1,647,360 円（派遣人数 88 人）

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：320,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/9	藤代公民館 講堂	東京芸術大学学生による木管五重奏	5 人	186 人
8/20	市民会館 大ホール	※令和 2 年度取手市長賞受賞者によるコンサート（ピアノ）	1 人	298 人
12/17	市民会館 大ホール	令和 3 年度取手市長賞受賞者によるコンサート（トロンボーン・チェロ）	4 人	223 人

※同コンサートは令和 3 年度から延期となったもの

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

【担当：文化芸術課】 P. 453

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 33,716,896 円 (38,401,374 円)

〔国・県 8,813,000 円 その他 20,851,120 円 一財 4,052,776 円〕

* 特財内訳

〔国補：文化芸術振興費補助金 8,813,000 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 9,330,000 円〕

〔諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円〕

〔諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,120 円〕

〔諸収入：コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり）5,000,000 円〕

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 152,000 円〕

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を生かして東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

○ 内容

委託料：4,000,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/3、4	市民会館屋外 特設会場	アマチュア無料公演	16 組	1,974 人
10/1	市民会館 大ホール	プロ有料公演	2 組	358 人

○ 効果

優れた演奏を鑑賞しに市内外から多くの人々が来場し、文化・芸術によるまちづくりの推進が図られた。

(2) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：770,000円（NPO法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、アーティストの活動を支援する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①アートに関わる人たちのためのスキルアップ講座、「アートに携わる人のための会計講座—はじめての確定申告からインボイス制度と改正電子帳簿保存法」を2回開催。創作活動だけでなく、アーティストとして活動するために必要な知識技術を獲得する講座を実施（計28人参加）

②「対話型鑑賞ツアー」言語化能力や論理的思考力の向上を目指し、アート作品を複数の人たちと対話しながら鑑賞するプログラムを学校と連携して実施。（小学校2校、中学校1校で計5回実施 計139人参加）

○ 効果

会計講座では、創作活動以外でアーティストであり続けるために必要な知識技術を学べる機会を提供した。対話型鑑賞ツアー参加者に、芸術作品は、ただ鑑賞するだけでなく、創造力やコミュニケーション力など様々な能力を育成できる効果があることを周知できた。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,855,640円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供した。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担。
- ・1戸につき2人以上、利用期間2年。
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加を条件としており、令和4年度は、11月にオープンスタジオが開催され、ワークショップや青空市でにぎわった。
- ・賃借人数

スタジオ名	101（管理運営）	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	4人	4人	4人	5人

○ 効果

25人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。空き店舗を利用して地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の3

者が連携協力して、地域の特徴を生かした芸術活動を行っているプロジェクトである。

令和4年度事業	活動テーマ「コロナの時代を経験して～近い未来の文化のために」
開催期間	通年
主な事業内容	<p>①TAP半農半芸－高須で空あそび 大空凧プロジェクト 令和3年度初めて実現した地元の自然素材からつくる凧。令和4年度は6畳の大凧の復活と300枚の小凧上げに取り組んだ。高須地区の方を中心に多くの積極的な協力が得られた。</p> <p>②耕すプロジェクト「プレイグラウンド」 東京芸大取手校地内のくぼ地を開墾し、多様な人が多様な過ごし方ができる野外空間として整備している。並行して「新・小文間物語」制作のため、小文間地区の歴史・文化・習俗を調査・研究した。</p> <p>③開発中プログラムジッケンツアー 将来的な協働体制の構築につなげるための実験的プログラム。自転車で市内芸術家のアトリエや壁画などを巡った。取手の街とアートの体験が楽しくできる試みとして実施した。</p>

・コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成金）

補助金：5,000,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

公益財団法人自治総合センター「令和4年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）」の助成を受けた事業。「郊外型アーツ・センター実践プロジェクト 芸術と教育を耕すアート・プレイグラウンドー表現と創造の世界を広げる土をつくる」を実施した。

・文化芸術振興費補助金

補助金：8,813,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

文化庁「令和4年度文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業）」の助成を受けた事業。「創造郊外都市～共創型アート・センター実験室 2022－2023－持続可能な芸術の営みを支える社会実験成果の実装」を実施した。

○ 効果

市民が市内各所で芸術的活動に触れることができ、触れることにより各人がそれぞれの課題にそれぞれのやり方で向き合い、解決できるような機会を提供するため活動してきた。コロナ禍で様々な制約があったが、その制約の中でも活動するためのノウハウを獲得することができ、芸術家と新たな形で関係を結び直すことができた。この芸術家との関係性に市民を巻き込み、芸術の持つ働きを市民に訴えかける下地を築くことができた。

(5) JOBAN アートライン協議会

○ 内容

負担金：400,000円

JR常磐線沿線の4区4市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京芸術大学、そしてJR東日本東京支社（現・首都圏本部）が「アート」をキーワードとした協議会を構成。常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

令和4年度は、4区4市で「芸大生ライブペイント&ミュージック in アートアンブレラ」（令和3年度までの忘れ物傘にペイントするワークショップと芸大生のライブペ

イントに、新たに芸大生による演奏も加えた)、「駅からハイキング」(上野駅、我孫子駅)、「ポストカードアートコンテスト」(新規事業)、「プロモーション物品制作」(ペーパーファイル、法被、芸大生アートポストカード)、「PR 冊子の軽微な修正と増刷」(5,000部)を実施した。

○ 効果

JR 常磐線沿線の住人に限らず、JOBAN アートライン協議会の認知度向上に寄与し、常磐線沿線の多種多様なアート資源の PR につながった。

(6) ストリートアートステージ事業

○ 内容

ストリートアートステージ作品制作・設置委託料：2,893,000 円

アートのあるまちづくりを基本理念として、様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一つ。東京芸術大学に作品の制作と設置を委託し、屋外アートギャラリー(ストリートアートステージ)に5作品を展示した。

○ 効果

人々が行き交う場所に作品を設置することで芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

(7) 取手市民のうた周知イベント実施業務委託

○ 内容

委託料：913,000 円

令和2年3月に市制施行50周年を記念して制作・発表した「取手市民のうた～新しい明日～」は、直後にコロナ禍に直面してPRイベントを開催できずにいたが、令和4年度「駅前にぎわいフェスタ」に、作詞・作曲・うたを担当したアーティストと振り付けを担当したダンサーを招致し野外ステージで周知を図った。

○ 効果

多くの市民と一緒に歌い踊り楽しむことで、うたと踊りのPRと郷土愛の醸成にもつながった。

[担当：文化芸術課] P.455

3302 新型コロナウイルス感染症対策経費 23,048,490 円 (24,163,856 円)

[国・県 9,945,000 円 一財 13,103,490 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9,945,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動の機会が減少した芸術家の経済的な支援と活動の幅を広げる機会の提供を目的とする。

(1) アート創作活動拠点オンライン公開事業

○ 内容

委託料：7,299,600 円 (NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス)

令和3年度に引き続き、芸術家のスタジオや活動の様子を取材し、インターネットで公開した。さらに、当市の芸術家の様子を海外にも発信できるよう、サイト内に英語ほか6か国語のページを作成した。(参加芸術家：21組)

○ 効果

市内で活動する芸術家の存在を市民に知ってもらうことができ、市民と芸術家が関わる機会の提供ができた。また、芸術家が活動を拡大していく端緒にもなった。

(2) 放課後子どもクラブ芸術家パートナーシップ事業

○ 内容

委託料：5,986,790 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市内 14 か所の放課後子どもクラブへ芸術家を派遣し、芸術活動を介して子どもたちと芸術家の交流機会を提供した。1 クラブ当たり 8 回実施（参加芸術家：7 組）

○ 効果

芸術家の専門的な技術や芸術家の世界観に子どもたちが触れることによって、価値観の多様化、自己肯定感向上のきっかけを与えることができた。また、芸術家にとっては、これまでの制作・研究の経験を生かしながら、新しいことに挑戦する機会、子どもたちとの芸術活動を介して新たな表現の可能性を見いだす場となった。

(3) 壁画によるまちづくり事業

○ 内容

委託料：3,729,000 円（取手市壁画によるまちづくり実行委員会）

取手市内在住、あるいは取手市を拠点にして活動する芸術家の経済支援を目的に、市内 2 か所の壁画修復を委託により実施した。

○ 効果

壁画の維持管理・修復を行うことで、落書きや不法張り紙等をなくし、安全で快適な市民生活と芸術が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(4) デジタルを活用した芸術作品 PR 事業

○ 内容

委託料：4,533,100 円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う人流抑制下では、実際に作品が展示されているところを訪れ、鑑賞するといったことが難しくなった。そのような環境に対応するため、デジタル技術を活用して、外出を伴わず立体的なアート作品を楽しむことができる仕組みを整備し、市が所蔵する立体芸術作品を様々な角度から見られるウェブサイト「とりでバーチャル美術館〈とばび〉」として公開した。

○ 効果

普段見られない作品や角度からも鑑賞でき、地図から探したり現地作品に貼付してある二次元コードから詳細情報を閲覧したりすることもできるようにすることで、多くの閲覧者を獲得した。

(5) 音楽家支援事業

○ 内容

委託料：1,500,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

コロナ禍で活動機会が減少した音楽家の支援を目的に、市民会館ロビーで「アフタヌーンコンサート」をおおよそ毎月 1 回開催。年度末には出演者全員による「アフタヌーンコンサートプレミアム」を市民会館大ホールで開催した。

○ 効果

市民会館ロビーでの「アフタヌーンコンサート」は、全 11 回開催し 20 組の音楽が出演し、入場者数は全回 80 名満席で延べ 880 名。市民会館大ホールでの「アフタヌーン

コンサートプレミアム」は、16組が出演し、入場者数は596名となった。多くの音楽家への支援と市民への質の高い演奏の場を提供できた。

〔担当：文化芸術課〕 P.455

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 13,395,121円 (13,013,772円)

〔その他 5,478,740円 一財 7,916,381円〕

* 特財内訳

〔諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 4,900,000円〕

〔使用料：アートギャラリー使用料 470,000円〕

〔使用料：市民ギャラリー使用料 108,740円〕

○ 目的

市民の芸術・文化交流の場であるアートギャラリーを管理・運営し、芸術・文化の振興に寄与する。

○ 内容

(1) ギャラリーの管理運営

とりでアートギャラリーは、取手駅ビル内にあるたいけん美じゅつ場 VIVA の一角に設置している。同施設の開閉、展示補助、市主催事業の受付等を委託により運営した。

・アートギャラリー管理委託料：2,384,039円 (県・市シルバー人材センター)

・施設賃借料：9,685,308円 (株式会社アトレ)

(2) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
「長元坊」に癒やされて	7/1～7/13	とりでアートギャラリー	取手市内在住の写真家小川文夫氏が自身で撮影した市内に生息するチョウゲンボウの写真を展示。 主催：環境対策課	808人
にこにこ元気なとりでっ子！！作品展	8/5～8/16	とりでアートギャラリー	市内公立、私立保育所(園)・幼稚園19か所に通う4歳児、5歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて4か所の地域子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,628人
とりでの工芸と金田鹿男追悼展	1/7～1/17	とりでアートギャラリー	部門ごとの市の所蔵品、市内の作家の作品を広く集め、展示する郷土作家部門展の第2回となる工芸部門の展覧会。108点を展示。	1,268人

※その他、ギャラリーの利用のない期間を利用して、東京芸術大学取手市長賞の作品を展示した。

(3) アートギャラリー貸出し実績

期間	展示名
4/1～4/6	第40回取手洋画クラブ展
4/8～4/13	井上忠志創作カップの世界
4/15～4/20	第34回藤代写友会写真展
4/22～4/27	桜井孝子油彩画展

4/29～5/3	グループ展感謝
5/6～5/11	取手さ・き・お・り展
5/13～5/18	戸頭油彩会展
5/20～5/25	絵を描く仲間達展
5/27～6/1	第26回16人+α展
7/14～7/20	さざんかの会絵画展
7/21～7/27	萌黄の会写真展
8/26～8/31	第25回写遊会取手写真展
8/26～8/30	藤代南中学校美術部展
10/7～10/12	第11回いばら会パステル画展
12/8～12/12	西陣美術織若冲動植綵絵
12/16～12/21	織り布展
2/10～2/15	藤代水墨画展
2/17～2/22	こころから体の間 YOUYOU ～取手アートプロジェクト《半農半芸》滞在制作成果展
3/3～3/8	私の芸術 I 23-03
3/10～3/15	第41回取手洋画クラブ展
3/17～3/22	Zzz・・・(おやすみ)展
3/23～3/29	第14回茨城県南書展

(4) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	令和4年度	令和3年度
取手駅市民ギャラリー	45件	39件
藤代駅市民ギャラリー	25件	25件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：子ども青少年課] P.457

3801 放課後児童対策事業に要する経費 163,786,415円(143,330,654円)

〈4,764,748円〉※〈〉は、うち3年度繰越分

[国・県 78,443,200円〈4,574,200円〉 その他 33,969,164円〈190,548円〉

一財 51,374,051円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 33,753,000円]

[国補：放課後児童支援員等処遇改善臨時特例交付金 〈4,574,200円〉]

[県補：子ども・子育て支援交付金 31,384,000円]

[県補：放課後児童対策事業補助金 8,732,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 33,470,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 308,616 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 〈7,518 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈183,030 円〉]

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、児童の健全育成を図る。

○ 内容

放課後子ども教室事業と放課後児童クラブ事業を一体的に、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市立小学校に開設。全児童を対象に放課後や夏休み等の長期休業中における安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、遊びや体験活動を通じて児童の健全育成と子育て支援の充実を図った。

令和 3 年 10 月より取手東小学校、高井小学校、藤代小学校の放課後子どもクラブの運営を民間事業者に委託することで、慢性的な支援員不足の解消及び民間事業者が持つノウハウの活用を図った。さらに、土曜日の開所を 3 クラブに集約することで支援員等負担の軽減と運営の効率化を図る一方、開所時間を拡大することで保護者の就労支援の充実を図った。

・放課後児童支援員報酬 84,829,401 円 〈2,986,748 円〉

・放課後子どもクラブ運營業務委託料 62,476,886 円

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者） 令和 5 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	39	35	39	35	14	11	173
白 山 小	40	36	41	20	13	5	155
取手東小	49	48	33	31	22	18	201
寺 原 小	32	31	27	23	17	5	135
永 山 小	22	29	30	12	15	3	111
取手西小	32	27	20	15	18	8	120
戸 頭 小	39	34	28	25	9	8	143
高 井 小	62	70	47	36	5	5	225
山 王 小	7	10	6	4	8	3	38
六 郷 小	7	8	9	11	7	6	48
藤 代 小	30	38	36	21	17	9	151
宮和田小	29	26	18	24	12	6	115
久 賀 小	25	27	19	11	18	2	102
桜が丘小	19	25	20	14	11	4	93
合 計	432	444	373	282	186	93	1,810

放課後子どもクラブ登録児童数（土曜日登録者） 令和 5 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	取手東	高井	藤代	合 計
取 手 小	15	1	0	16
白 山 小	4	1	1	6
取手東小	46	0	0	46
寺 原 小	1	4	2	7
永 山 小	0	5	0	5

取手西小	1	12	0	13
戸頭小	0	7	1	8
高井小	0	47	0	47
山王小	0	1	0	1
六郷小	2	0	0	2
藤代小	0	0	16	16
宮和田小	0	0	13	13
久賀小	0	0	12	12
桜が丘小	1	0	10	11
合計	70	78	55	203

※土曜日は取手東小、高井小、藤代小の3クラブで開所（令和3年10月より）。

○ 効果

放課後子どもクラブの開設により、児童の健全育成と子育て支援の充実を図ることができた。取手東小・高井小・藤代小の3クラブの運営委託及び土曜日開所を同クラブに集約化することで、支援員等の人材不足への対応及び支援員等の負担軽減につながった。さらに、土曜日の開所時間を拡大することで、保護者の就労支援を行うことができた。

【担当：子ども青少年課】 P. 459

3802 新型コロナウイルス感染症対策経費 10,440,683円（4,081,352円）

【国・県 7,980,000円 一財 2,460,683円】

* 特財内訳

【国補：子ども・子育て支援交付金（感染症対応分）2,290,000円】

【国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,814,000円】

【県補：子ども・子育て支援交付金（感染症対応分）1,876,000円】

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することで、放課後子どもクラブの継続的な運営を行う。

○ 内容

放課後子どもクラブ運営における新型コロナウイルス感染症対策として、マスク・消毒液等の衛生用品等の購入を行った。また、放課後子どもクラブ室内の手洗い場設置工事を1クラブ、自動水栓化工事を10クラブで実施するとともに、3クラブ（取手東小・寺原小・戸頭小）の静養室にエアコンを設置したほか、支援員がオンライン研修参加を行うための環境整備を行った。

- ・ 消耗品費（衛生用品・抗原定性検査キット等） 2,343,466円
- ・ 空調機設置工事 644,600円
- ・ 自動水栓化工事 2,865,500円
- ・ 手洗い場設置工事 1,056,000円
- ・ 備品購入費（通信環境整備に伴う事務機器購入） 3,405,380円

○ 効果

衛生用品等の購入及び、自動水栓化工事・エアコン設置工事の実施により、放課後子どもクラブ内の感染症対策を実施した。また、支援員がオンライン研修に参加する環境を整備した。

[担当：生涯学習課] P. 459

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 388,424 円 (80,870 円)

[国・県 258,000 円 一財 130,424 円]

* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金

388,424 円×2/3≒258,000 円]

○ 目的

訪問型家庭教育支援事業は、地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことを目的とする。

○ 内容

(1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる情報提供

(2) 実施対象 市校長会から推薦いただいた小学校 4 校 (永山小、寺原小、高井小、山王小) の小学 1 年生児童を持つ保護者 (199 名) と市内市立小学校への転入生 (60 名)

(3) 実施内容 ①保護者からの相談への対応

②保護者に対する情報提供

(4) 実施結果 対象人数 259 名の内、170 名

学校名	対象人数	面談者数	面談割合
永山小学校	34 名	30 名	88%
寺原小学校	52 名	51 名	98%
高井小学校	103 名	80 名	78%
山王小学校	10 名	7 名	70%
合計	199 名	168 名	84%
転入生 (全学年)	60 名	2 名	100%

※転入生に対しては、全員へ家庭訪問についてアンケートを実施し、希望者のみ実施したため、希望者 2 名で 100%実施となる。

○ 効果

コロナ禍ではあったが、3 年ぶりに以前実施していた支援員による個別家庭訪問を実施し、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課] P. 461

0501 公民館事務に要する経費 47,345,862 円 (39,639,138 円)

[その他 8,377,880 円 一財 38,967,982 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 8,117,270 円]

[手数料：コピー手数料 152,530 円]

[諸収入：印刷機使用料 107,710 円]

[諸収入：電話通話料 370 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行った。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

- ・ 光熱水費 24,501,372 円（各公民館施設の光熱水費）
- ・ 委託料 16,544,886 円
（各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託、消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託など）
- ・ 備品購入費 248,600 円
（卓球台 4 台、全自動洗濯機 2 台）

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

【担当：生涯学習課】 P.463

2101 公民館活動に要する経費 871,726 円（494,349 円）

〔一財 871,726 円〕

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実に努める。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

- ・ 報償費 546,743 円（各公民館講師謝礼等）

事業名	期 間	回数	受講者数 (人)	事業内容及び結果
女 性 学 級	年間	各学級 6～10	1 学級 6 人～31 人 8 学級(128 人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら豊かな人間性を培い、学級生相互の交流を深めた。
高 齢 者 学 級	年間	各学級 7～14	1 学級 11 人～86 人 3 学級(127 人)	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
初心者そば打ち講習会	11 月	1	13	初心者を対象に、そば打ちを学んだ。
ふるさと講座	11～3 月	2	64	郷土に関する歴史の学習を通し郷土愛と交流を深めた。
ゼリーキャンドル講座	12 月	1	8	クリスマスの季節に綺麗なゼリーキャンドルを作成した。

健康教室	10～2月	5	105	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
しめ飾り作り講座	12月	1	23	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
地域交流会	11月	1	24	地域親睦と健康増進を目的に、ハイキング（ウォーキング）を開催し、地域の交流を深めた。
ペタンク大会	10月	1	117	スポーツ（ペタンク）を通じて、各世代間の交流を図った。
永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	21	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。
公民館まつり	2～3月	10	8,971	公民館利団体が学習成果を展示・発表、地域住民の方と交流を図った。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数（件）	延べ利用者数（人）
中央公民館	R4	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R3		
小文間公民館	R4	1,188	8,687
	R3	1,065	6,995
永山公民館	R4	2,657	29,537
	R3	2,041	21,062
寺原公民館	R4	2,052	25,453
	R3	1,690	18,724
井野公民館	R4	3,354	55,559
	R3	3,268	51,379
戸頭公民館	R4	3,750	53,134
	R3	3,206	45,201
白山公民館	R4	2,234	33,907
	R3	1,904	24,113
藤代公民館	R4	3,484	44,164
	R3	2,619	46,447
山王公民館	R4	682	5,864
	R3	659	5,743
六郷公民館	R4	784	10,704
	R3	756	7,237
相馬公民館	R4	1,054	9,584
	R3	866	7,701
相馬南公民館	R4	1,315	11,984
	R3	1,123	9,282

高 須 公 民 館	R4	461	4,791
	R3	399	3,490
久 賀 公 民 館	R4	766	6,944
	R3	687	6,019
計	R4	23,781	300,315
	R3	20,283	253,393

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

〔担当：生涯学習課〕 P.465

2301 公民館施設整備に要する経費 24,608,404 円 (17,244,507 円)

〔地方債 12,600,000 円 その他 8,578,000 円 一財 3,430,404 円〕

* 特財内訳

〔市債：公民館施設整備事業債 16,830,000 円 × 75% ≒ 12,600,000 円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,578,000 円〕

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行った。

- ・ 修繕料 6,700,864 円 (各公民館施設の修繕)
- ・ 委託料 858,000 円 (戸頭公民館空調改修工事実施設計業務委託料)
- ・ 工事請負費 16,830,000 円 (久賀公民館屋根改修工事)
- ・ 工事請負費 198,000 円 (戸頭公民館駐輪場解体工事)

○ 効果

久賀公民館の屋根シートがはがれ、雨漏りが生じ、全体が劣化していることから、屋根全体の改修工事を行った。

また、各公民館の附帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある附帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性の維持・向上に寄与した。

〔担当：生涯学習課〕 P.465

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 3,476,000 円 (5,487,900 円)

〔国・県 1,922,000 円 一財 1,554,000 円〕

* 特財内訳

〔国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,922,000 円〕

○ 目的

新型コロナウイルス感染症予防対策として、公民館施設の快適な環境整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

永山公民館、寺原公民館、井野公民館、戸頭公民館、藤代公民館、相馬南公民館の Wi-Fi 機器設置工事を実施した。

- ・ 工事請負費 3,476,000 円 (Wi-Fi 機器設置工事)

○ 効果

感染症対策のため、永山公民館、寺原公民館、井野公民館、戸頭公民館、藤代公民館、相馬南公民館のWi-Fi機器設置工事を実施し、利用環境の向上を図った。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.467

2001 図書館管理運営に要する経費 143,633,561円(54,690,133円)

〈42,940,000円〉※〈〉は、うち3年度繰越分

[地方債 112,000,000円(40,700,000円) その他 6,940,000円(2,240,000円)

一財 24,693,561円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 75,100,000円×95%≒71,300,000円]

[市債：合併特例債〈42,940,000円×95%≒40,700,000円〉]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,700,000円]

[繰越金：前年度繰越金〈2,240,000円〉]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
ふじしろ図書館空調設備改修工事	経年劣化により空調設備を更新するための改修工事を行い、快適な館内環境の維持を図った。 (令和3年度～4年度継続事業)	75,100,000
継続費繰次繰越 (ふじしろ図書館空調設備改修工事)		42,940,000
取手図書館高圧気中開閉器(PAS)改修工事	経年劣化によりPASを更新するための改修工事を行い、図書館設備の安全性の維持を図った。	1,001,000

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めることができた。

[担当：図書館] P.467

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 197,868円(820,600円)

[国・県 129,000円 一財 68,868円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 129,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、取手図書館の資料閲覧コーナー・学習室・会議室・事務室等に飛まつ防止パネルパーティションの設置、職員による施設備品等の消毒、及び、手洗い場にハンドソープの設置を行う。

○ 内容

・飛まつ防止パネルパーティションの購入 157,080円

- ・図書館内消毒用アルコール消毒ワipesの購入 39,600 円
- ・図書館利用者用ハンドソープの購入 1,188 円

○ 効果

パネルパーティションの設置による飛まつ防止効果の向上、アルコール消毒ワipesによる定期的な設備備品等の除菌、ハンドソープ設置による利用者の手洗い除菌の促進を実施することにより、飛まつ感染及び接触感染の観点における衛生環境を整えることができた。

[担当：図書館] P.467

2101 図書館活動に要する経費 95,333,936 円 (93,928,573 円)

[国・県 2,860,000 円 その他 145,290 円 一財 92,328,646 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,860,000 円]

[手数料：コピー手数料 67,240 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 78,050 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用
本の魅力を発信する図書館 Web サービス及び学校図書館と市立図書館とのシステム連携並びに図書配送サービスの運用。
図書館システム賃借料（4～3 月） 34,363,737 円
図書配送業務委託料 6,803,280 円
- ・電子図書館システム使用料 4,399,988 円
- ・学校との連携、学校図書館への支援
学校司書研修会
蔵書点検の指導・実施
図書館システム活用・運用についての指導（随時）
学校訪問おはなし会
放課後子どもクラブ訪問おはなし会
家庭教育学級への講師派遣（中止）
学校へのリサイクル図書配付（619 冊）
- ・うちどく（家読）
「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。また、図書館作成の「うちどく絵本リスト」を市立小学校 1 年生に配付した。
- ・子育て支援
ブックスタート事業（年 24 回実施・509 冊配付）
乳幼児・児童向け読み聞かせ
地域子育て支援センター訪問（中止）

こども発達センターおはなし会（中止）
 子育て支援センター（4か所）へ配本セットを巡回
 おすすめ絵本紹介として、「よもつと」を年5回発行・配信
 保育所等へのリサイクル図書配付（75冊）

- ・メルマガ配信
- ・中高生向け本の情報紙「ほんバナ」を年3回発行・学校に配付・ホームページ掲載
- ・図書館まつり 取手図書館（中止）・ふじしろ図書館（中止）
- ・特別展示「効き目ほんわか ころのお薬100冊 2022」（8/2～9/29）
 自殺予防週間に合わせ、いのちやころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。（総貸出冊数3,022冊）

(2) 登録者数 (単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
R4	442	4,700	2,504	920	2,366	3,949	5,181	6,688	5,622	14,599	46,971
R3	469	4,854	2,669	2,446	2,432	3,726	4,991	6,743	5,185	13,911	47,426
R2	516	4,907	2,751	2,040	2,372	3,439	4,819	6,671	4,758	13,300	45,573
R1	587	4,981	2,849	1,565	2,254	3,138	4,768	6,499	4,298	12,733	43,672
H30	631	4,674	2,369	1,848	2,518	3,514	5,529	6,944	4,393	13,598	46,018

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数（単位：人）				
	R4	R3	R2	R1	H30
取手図書館	115,020	106,842	100,230	140,085	149,093
ふじしろ図書館	114,932	112,046	105,911	156,734	166,972
合計	229,952	218,888	206,141	296,819	316,065

・館別貸出者数

館名	貸出者数（単位：人）					
	R4	R3	R2	R1	H30	
取手図書館	52,922	54,860	50,310	61,607	65,682	
ふじしろ図書館	48,704	50,821	45,585	56,228	61,000	
戸頭公民館図書室	25,032	25,650	23,813	30,072	32,510	
小文間公民館図書室	469	325	286	324	208	
寺原公民館図書室	4,831	4,887	4,634	4,596	4,478	
永山公民館図書室	1,352	1,433	960	887	962	
ゆうあいプラザ図書室	2,889	3,120	2,658	2,549	2,784	
井野公民館	2,716	2,704	2,464	2,010	1,670	
取手駅前窓口	7,040	8,418	7,441	7,385	6,743	
山王公民館	100	124	137	133	98	
六郷公民館	333	500	420	271	333	
相馬南公民館	1,197	1,329	870	677	729	
学校配送	小学校	2,002	2,154	2,105	1,510	1,765
	中学校	375	476	465	423	468
合計	149,962	156,801	142,148	168,672	179,430	

・貸出冊数（個人貸出）

館名	貸出冊数（単位：冊）					
	R4	R3	R2	R1	H30	
取手図書館	195,464	201,263	185,547	219,351	231,682	
ふじしろ図書館	181,573	187,053	166,889	200,337	221,087	
戸頭公民館図書室	80,606	80,551	74,126	90,975	98,324	
小文間公民館図書室	934	658	575	691	459	
寺原公民館図書室	10,531	10,476	10,561	10,533	9,976	
永山公民館図書室	3,564	3,877	2,709	2,198	2,665	
ゆうあいプラザ図書室	8,005	8,350	7,110	6,756	7,403	
井野公民館	5,367	5,281	4,971	4,023	3,405	
取手駅前窓口	13,483	16,836	14,917	14,536	13,282	
山王公民館	187	207	247	293	159	
六郷公民館	675	937	822	554	595	
相馬南公民館	2,325	2,788	1,763	1,070	1,148	
学校配送	小学校	3,374	4,227	5,338	6,385	8,828
	中学校	320	781	934	695	891
合計	506,408	523,285	476,509	558,397	599,904	

※学校配送は、平成29年10月から開始

・予約（リクエスト）利用状況

予約（リクエスト）件数	予約件数（単位：件）				
	R4	R3	R2	R1	H30
	123,623	135,422	126,333	126,737	116,266

○ 効果

新型コロナウイルス感染症防止のため中止していたイベントの再開に努め、読書環境を整備し、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

【担当：図書館】 P. 469

2201 図書館資料購入に要する経費 28,406,569円（28,364,763円）

【その他 19,740,688円 一財 8,665,881円】

* 特財内訳

【繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 19,630,000円】

【諸収入：図書弁償金 39,009円】

【諸収入：広告掲載料 71,679円】

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

既定の収集方針に基づき図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和4年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入数 (冊)	購入金額 (円)	購入種類	購入金額 (円)
取手図書館	4,255	8,698,798	64誌	662,115
ふじしろ図書館	4,814	9,276,177	75誌	830,987
戸頭公民館図書室	1,658	3,149,422	25誌	297,355
合計	10,727	21,124,397	130種類	1,790,457
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額 (円)	購入数 (点)	購入金額 (円)
取手図書館	12紙	417,636	36	63,192
ふじしろ図書館	16紙	538,652	94	597,328
戸頭公民館図書室	10紙	295,836	59	36,989
合計	17種類	1,252,124	189	697,509

※新聞の購入種類は同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載

・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書（単位：冊）				
	R4	R3	R2	R1	H30
取手図書館	139,867	138,203	134,967	142,905	140,608
ふじしろ図書館	137,819	144,232	146,845	146,304	143,612
戸頭公民館図書室	57,585	56,837	54,684	52,761	53,877
小文間公民館図書室	2,361	2,268	2,190	2,391	2,376
寺原公民館図書室	4,840	4,650	4,523	4,511	4,489
永山公民館図書室	4,561	4,303	4,179	4,188	4,460
ゆうあいプラザ図書室	10,327	10,761	10,496	10,488	9,779
合計	357,360	361,254	357,884	363,548	359,201

館名	雑誌（単位：タイトル数）				
	R4	R3	R2	R1	H30
取手図書館	78	80	86	89	90
ふじしろ図書館	80	81	86	92	94
戸頭公民館図書室	25	26	27	27	29
合計	183	187	199	208	213

館名	AV（単位：件）				
	R4	R3	R2	R1	H30
取手図書館	903	861	756	691	548
ふじしろ図書館	5,905	5,771	5,863	5,682	5,445
戸頭公民館図書室	285	227	160	143	115
合計	7,093	6,859	6,779	6,516	6,108

○ 効果

各館の特長を活かしながら利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指した。また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい地域の公民館など

読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

〔担当：生涯学習課〕 P.471

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 8,208,681円(7,596,446円)

〔その他 192,000円 一財 8,016,681円〕

* 特財内訳

〔諸収入：本陣駐車場使用料 192,000円〕

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容	備考
R4	週3日 (金・土・日)	156日	2,642人	16.9人	・修復工事のビデオを随時放送した。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。	
R3	週3日 (金・土・日)	142日	2,727人	19.2人	・修復工事のビデオを随時放送した。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。	【臨時休館】 ・理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言のため ・期間 R3/8/18～R3/9/23

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,949,740円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
庭園管理委託料	1,287,000円
史跡指定地・駐車場賃借料	3,579,727円

○ 効果

コロナ禍ではあったが旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、市民の歴史や文化財に対する関心を高めるとともに、見学者の約7割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与できた。

〔担当：生涯学習課〕 P.475

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 657,977円(6,667,651円)

〔一財 657,977円〕

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	R4年度	R3年度	R2年度
来館者数	2,763人	3,794人	1,552人

(2) 展示活動

展 示 名	埋蔵文化財センター第50回記念企画展「目で見てふりかえる取手」
期 間	R4/8/9～10/2 会期日数48日
来館者数(1日平均)	877人(18.3人)
経 費	・印刷製本費613,800円(ポスター、解説図録など)
内 容	埋蔵文化財センターの第50回企画展を記念して、江戸時代から現在に至る取手市の移り変わりを、絵図・地図・写真・絵画・絵はがきなどの視覚に訴える資料から紹介した。 ・歴史講座 「移り変わるふるさとの風景」 9/10 講師 埋蔵文化財センター職員 参加者101名

○ 効果

コロナ禍ではあったが活動により、市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

〔担当：スポーツ振興課〕 P.479

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 8,952,000円(8,914,694円)

〔その他 5,040,000円 一財 3,912,000円〕

* 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,040,000円〕

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
スポーツ協会	28部	4,836人	スポ協親睦会・講演会の開催、視察研修、各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成

スポーツ少年団	10 連盟 34 単位団	指導者 170 人 団 員 941 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加
---------	-----------------	------------------------------	---

○ 効果

スポーツ協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと、認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

〔担当：スポーツ振興課〕 P. 481

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 135,702,249 円
(171,875,007 円)

〔その他 6,821,665 円 一財 128,880,584 円〕

* 特財内訳

〔繰入金：森林環境譲与税基金繰入金 4,367,000 円〕

〔諸収入：電力需給契約の解約に伴う損害賠償金 2,454,665 円〕

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。また、電力会社の中途解約に伴う市への賠償金の中から、既に指定管理者から支払われた電気料損失相当額について補填を行った。

・指定管理料 123,732,665 円（うち補填分 2,454,665 円）

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R4 年度	R3 年度	増 減
室内プール	117,615	110,571	7,044
遊水プール	10,597	0	10,597
第一体育室	47,316	30,974	16,342
第二体育室	8,923	7,884	1,039
トレーニング室	41,118	37,472	3,646
柔道場	13,499	12,148	1,351
剣道場	8,643	7,704	939
弓道場	11,117	10,299	818
健康相談室	375	473	-98
スポーツ障害相談室	237	119	118
研修室	13,536	11,236	2,300
会議室	409	242	167
和室	841	945	-104
その他	9,088	5,030	4,058

合	計	283,314	235,097	48,217
---	---	---------	---------	--------

(2) 修繕費

・地下1階機械室応急修繕 4,895,000円

(3) 委託料

・ナラ枯れ伐採業務委託料 4,290,000円

・ナラ枯れ消毒業務委託料 253,000円

○ 効果

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。また、地下1階機械室のコンクリート床に腐食がみられ、緊急の修繕を行い、他の設備に影響が出ないよう処置した。さらに、グリーンスポーツセンター敷地内に発生したナラ枯れの被害に対し、樹木の伐採処分及び消毒処理を行うことにより被害の拡大を防ぎ、安心して利用できる環境を整えた。

[担当：スポーツ振興課] P.483

2003 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,000,000円 (2,462,000円)

[国・県 500,000円 一財 500,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 500,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大により、取手グリーンスポーツセンターが休館及び時短営業となった期間（令和3年8月6日から令和3年8月18日時短営業・令和3年8月19日から令和3年9月20日休館・令和3年9月21日から令和3年9月30日時短営業）の支援金を指定管理者へ交付する。

○ 内容

国の緊急事態宣言及びまん延防止の期間中、取手グリーンスポーツセンターの施設を休館及び時短営業したことに対する支援金を指定管理者へ交付した。

○ 効果

取手グリーンスポーツセンターを管理する指定管理者への支援金を交付することで、公の施設の安定的な管理運営に資することができた。

[担当：スポーツ振興課] P.483

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 42,449,187円 (41,812,795円)

[その他 9,328,180円 一財 33,121,007円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 9,327,430円]

[手数料：コピー手数料 150円]

[諸収入：印刷機使用料 600円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R4年度	R3年度	増減
アリーナ	28,130	23,519	4,611
レクリエーション室	5,365	3,705	1,660
多目的グラウンド	4,906	4,101	805
野球場	8,527	5,677	2,850
テニスコート	11,573	10,479	1,094
広場計(ピクニック広場、クレール広場)	4,270	3,531	739
会議室	339	180	159
合計	63,110	51,192	11,918

(2) 施設維持・管理経費

- ・総合体育館設備保守・清掃業務委託 8,665,800円
- ・施設管理業務委託 2,949,641円
- ・屋外施設管理業務委託 4,620,000円
- ・庭園管理業務委託 8,774,700円

(3) 修繕一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代スポーツセンター 屋外ベンチ修繕	208,725円	R4/5/18～ R4/7/31	屋外ベンチの経年劣化に伴う修繕
藤代スポーツセンター 体育館誘導灯修繕	438,900円	R4/11/26～ R5/2/28	誘導灯の経年劣化に伴う修繕
藤代スポーツセンター 玄関前照明修繕	195,800円	R5/3/9～ R5/3/25	玄関前照明の経年劣化に伴う修繕

○ 効果

新型コロナウイルス感染症の影響に配慮し、施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

【担当：スポーツ振興課】 P.485

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 42,350,000円(892,100円)

〔国・県 28,048,000円 一財 14,302,000円〕

* 特財内訳

〔国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 28,048,000円〕

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策として、藤代スポーツセンター体育館のトイレを、和式から洋式への改修や床を乾式化に改修することを目的とする。

○ 内容

新型コロナウイルス感染症に対する予防策として、藤代スポーツセンター体育館のトイレを和式から洋式への改修、床を乾式化した。

- ・藤代スポーツセンタートイレ改修工事実施設計業務委託 2,090,000円
(工期：令和4年5月14日～令和4年8月31日)
- ・藤代スポーツセンタートイレ改修工事 40,260,000円

(工期：令和4年9月23日～令和5年3月15日)

○ 効果

新型コロナウイルス感染症等への対策がなされ、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

[担当：スポーツ振興課] P.485

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,169,000円(116,050円)

[国・県 2,945,000円 一財 1,224,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,945,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策として、藤代武道場(ロビー・更衣室)に空調設備を設置することを目的とする。

○ 内容

新型コロナウイルス感染症に対する予防策として、藤代武道場(ロビー・更衣室)に空調設備を設置した。

- ・藤代武道場ロビー・更衣室空調設備設置工事实施設計業務委託 429,000円
(工期：令和4年5月14日～令和4年8月31日)
- ・藤代武道場ロビー・更衣室空調設備設置工事 3,740,000円
(工期：令和4年10月7日～令和5年2月28日)

○ 効果

新型コロナウイルス感染症等への対策がなされ、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

[担当：スポーツ振興課] P.487

2402 社会体育施設管理に要する経費(旧取手一中体育施設) 2,557,192円
(2,482,467円)

[一財 2,557,192円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

項目	R4年度	R3年度	増減
利用団体数	6団体	6団体	0
登録人数	162人	179人	△17

(2) 施設維持・管理経費

- ・雨水貯留槽等点検管理業務委託 561,000円
- ・樹木剪定草刈清掃等業務委託 1,074,700円

(3) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
体育施設防草シート 設置工事	495,000 円	R4/6/9~ R4/8/31	旧取手一中敷地内の草刈予定地に防草シートを設置することにより、衛生面や利用者の安全性及び草刈清掃業務委託料の削減を図った。
	369,600 円	R5/2/3~ R5/3/15	

○ 効果

樹木剪定草刈清掃の実施及び防草シートの設置により、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P.489

2001 給食センター運営に要する経費 124,228,678 円 (117,884,854 円)

[その他 113,588,679 円 一財 10,639,999 円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 1,096,685 円]

[諸収入：小学校給食代センター分 72,128,237 円]

[諸収入：中学校給食代センター分 40,363,757 円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供することにより、教育の充実を図る。

○ 内容

賄材料費 113,250,876 円

消耗品費 3,169,802 円

○ 効果

適正な施設運営を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.491

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 6,393,102 円 (474,102 円)

[国・県 4,059,000 円 一財 2,334,102 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,420,000 円]

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 639,000 円]

○ 目的

給食の質と量を維持するために、食材の価格が高騰した分を賄材料費に充てることで保護者への負担を避ける措置を講じる。

さらに、学校の臨時休業により影響を受けた、学校給食用食材（主食及び牛乳）納入事業者に対して経済支援を行う。

○ 内容

- ・ 賄材料費 5,307,000 円
- ・ 学校等臨時休業対策費給食事業補助金 1,086,102 円

○ 効果

学校の臨時休業及び食材の価格高騰による影響を給食費に転嫁することを避けながら、給食の質と量を維持することができた。

[担当：保健給食課] P.491

2101 給食センター施設整備に要する経費 47,503,582 円 (125,049,060 円)

〈456,500 円〉※〈 〉は、うち3年度繰越分

[その他 3,426,500 円 〈456,500 円〉 一財 44,077,082 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,970,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈456,500 円〉]

○ 目的

学校給食センターの給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、当該施設の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	16,059,972
修繕料	調理機器及び施設修繕料	2,792,790

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,989,005
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	385,000
電気保安業務委託料	電気保守点検	231,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	汚水・排水処理施設保守点検及び清掃	2,484,900
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラー保守点検及び運転管理	1,656,600
生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務委託	給食の生ごみの堆肥化	1,383,195

(3) 工事請負費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
調理場内シンク改修工事	施設の老朽化に伴う改修工事	2,970,000
高圧気中開閉器改修工事	高圧気中開閉器の老朽化に伴う改修工事	979,000
繰越明許費 (消防設備改修工事)	施設の老朽化に伴う改修工事	456,500

○ 効果

学校給食センター内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。